



えんじゅ

春日市立春日小学校

校長室便り No.3

令和元年5月14日

文責：校長 福島

絵本の風



昨日、読み聞かせボランティア「かすがっ子おはなし会」の皆様が、昼の読書タイムの時間に絵本の読み聞かせをしてくださいました。

子ども達はみんな本が大好きです。おはなし会の方が椅子に座って絵本を取り出すと、見えないうちに引っ張られるように身を乗り出し、目をぱっちりと開け、絵本の世界に引き込まれていきます。時には「知ってる知ってる！」と反応する場面があったり、おなかを抱えて笑い転げる場面があったりと、絵本の世界を満喫していました。

たった1冊の絵本で教室は世界が変わります。昨日は1・2年生が対象でしたが、6年生が対象でも同じような雰囲気になります。窓を開けた教室には心地よい風が吹いていました。絵本の風が吹いていると思いました。

「本は心の栄養」だと言われます。デジタルな時代だからこそ、温かい“人の声”で読み聞かせをすることには意味があると思います。大きくなった時に、心の片隅に温かさとともに本の記憶は残るのではないのでしょうか。おうちでも時間があればお子様に本を読んであげたり、一緒に本を読んだりしてみてもいいかもしれません。

おはなし会の皆様が、楽しそうに取り組まれていることも印象的でした。私もボランティア仲間が増えることを願っています。お子様の学級にも行けるそうですよ。4月26日に募集のお手紙を配っています。興味がある方、まずは相談してみませんか？